

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 (仮称)嵯峨嵐山計画 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		3.0	0.15	2.6	1.00			2.7
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1	暗騒音レベル	3.0	1.00	3.0	1.00			
2	設備騒音対策	-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.2	0.40			
1	開口部遮音性能	3.0	1.00	3.0	0.30			
2	界壁遮音性能	-	-	3.0	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	4.0	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		1.9	0.35	3.0	1.00			2.8
2.1 室温制御		1.7	0.50	3.0	1.00			
1	室温設定	1.0	0.63	-	-			
2	負荷変動・追従制御性	-	-	-	-			
3	外皮性能	3.0	0.38	3.0	1.00			
4	ゾーン別制御性	-	-	-	-			
5	温度・湿度制御	-	-	-	-			
6	個別制御	-	-	-	-			
7	時間別空調に対する配慮	-	-	-	-			
8	監視システム	-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.2	1.00			3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	2.5	0.50			
1	昼光率	LDなど居室面積に大きい箇所には2ヶ所以上窓を設けた	5.0	0.60	2.0	0.50		
2	方位別開口		-	3.0	0.30			
3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1	照明器具のグレア		-	-	-			
2	昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
1	照度		3.0	1.00	-			
2	照度均等性		-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気環境		4.2	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
1	化学汚染物質	建材についてはF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00	5.0	1.00		
2	アズベスト対策		-	-	-			
3	ダニ・カビ等		-	-	-			
4	レジオネラ対策		-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1	換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2	自然換気性能		-	-	3.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4	換気計画		-	-	-			
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視		-	-	-			
2	喫煙の制御		-	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					3.2
1 機能性		4.4	0.40	3.8	1.00			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	4.0	0.60			
1	広さ・収納性		-	3.0	-			
2	高度情報通信設備対応		-	4.0	1.00			
3	バリアフリー計画	京都市バリアフリー条例に適合	4.0	1.00	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	3.5	0.40			
1	広さ感・景観		-	3.0	0.50			
2	リフレッシュスペース		-	-	-			
3	内装計画	空間を考えて計画した	5.0	1.00	4.0	0.50		
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計		2.0	-	-			
2	維持管理用機能の確保		2.0	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1	耐震性		3.0	0.80	-			
2	免震・制振性能		3.0	0.20	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			2.8	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	精密機器を雨掛かりではない箇所に設置	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.6	1.00
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50
1	階高のゆとり		-	-	4.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			-	-	2.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮		京都市美観地域に配慮した計画	4.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		エコキュート使用	5.0	0.40	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-
1.1	節水		3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材を容易に分別できる	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	フロン、ハロンを使用しない	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-
3	交通負荷抑制	出来る限り駐車場、駐輪場を設けた	4.0	0.50	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.50	-	-
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	タイマーなどを使用し、夜中は必要最低限の光源とする	4.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-